



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

平成 24 年 8 月 4 日(土)
のしろまち灯り・夏 編

昨年同様、今年も猛暑の中の準備です。会場は国道 7 号沿のホテルエイト駐車場をお借りしての開催。皆さん、熱中症にならぬよう朝から作業が始まりました。

年々来場者が増え、嬉しい悲鳴。エイト付近のお店にご挨拶にうかがうと、駐車場の苦情が出てきてさあ大変！各お店の駐車場がまち灯り客でいっぱいになってしまうとのこと。空き地を探し、所有者を訪ね、何とかお願いをすることができました。

今年も能代バイパス黒松友の会の皆さんが、旧二小に保管している田楽 200 基を修繕。うち 120 基の田楽を国道 7 号沿道に設置します。その下にスギ灯り 200 個を並べ、19 時に一斉点火。優しい光が人々を魅了します。

日中のイベントは恒例のウッディ動物園と木工教室、屋台は昨年より参加店が増え、6 月の嫁見祭りがご縁で檜山茶誠堂、お菓子のメルヘンが出店。いつもネットワークに協力して下さる上町のやま久、そして NPO 法人常盤ときめき隊と上町すみれ会。飲食だけではなく、新たな企画が続々と飛び出し、ぐるーぷ・あばんしえ「のまち灯り・なつ」オリジナルポストカードやエリア・小林さんの木工作品の販売。また、青森県弘前市を拠点に活動するパフォーマー Taken (テイクン) 畠山さんのジャグジグパフォーマン参加。若者たちが積極的自ら参加して下さることも大変嬉しい成果です。

上町すみれ会は能代の伝統行事、役七夕の当番町が上町であるため参加者が少なく、飲食はできませんでしたが、その代わりに素晴らしい企画が！何と「メダカすくい」。6 月の東北風景街道協議会視察の際の懇親会で出た話が現実に！国土交通省能代河川国道事務所がある東能代のたんぼにはメダカが沢山生息していると岡部課長さんの談。そこで、まち灯りに金魚ならぬメダカをすくったら面白いのではとの話にみんなで盛り上がり、課長さんは実施を約束。

能代市の協力で給水車の水をメダカ用プールに入れることにしましたが、塩素が心配。そこで前日に水を溜めて環境づくり。ところが猛暑のおかげで、捕獲していたメダカは全滅したそうな(@_@:)。そこで、能代河川国道事務所調査第二課の皆さんは当日早朝からメダカを捕獲。間に合わせて下さいました。

すみれ会では、金魚すくい用のすくいセット(紙)を準備。「これですくえるの？」と疑心暗鬼。子どもたちが来てくれるかも心配…。ところが、プールの周りは群がる子供たちいっ



まずは沿道の LED スギの設置(上)。猛暑対策で日陰設置(中)。全体レイアウトを決めるためスギデッキ設置(下)。



何もなかったアスファルト空間はスギ機材とお花でたくさんのお客さんをおもてなしする空間に大変身。



弘前から参加の畠山さんのパフォーマンス。子どもも大人も大注目(上)。木高研・足立先生の指導を受けて完成した能代高校生の作品。木の灯り。斬新なアイデアに注目度 up(左)。



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

ばい！ さあ～大変！ スタッフはてんやわんやの大盛況となりました♪メダカは、軽いので紙が破れないことを再発見。子供たちは真剣な顔でメダカを追います。岡部さんの発案と2度のメダカ取りというご難儀な賜物はなんとも愉快で、楽しいくほのぼのとしたイベントになりました(感謝の一言)。

日が暮れると点火と共にべらぼう太鼓の演奏が始まり、所狭しと人が集まってきます。今年初参加の能代高校生の木材を使った灯りも観客の目を引き、新聞にも大きく掲載されました。

夏はいつも、好天に恵まれ助かります。21時に無事終了してからの撤去作業も大変なことです。22時にはほぼ終了。

翌日は朝8時半からに上町ほっとステーションに機材を移動と二日がかりの大仕事です。搬出入に協力して下さる幸和リースさんにはホントに感謝でいっぱいです。翌日の作業は、新しく借りた倉庫に収めるのに随分時間がかかりました。大きな機材、そして運搬、マンパワー不足。ふっと不安がよぎります。より多くの団体協力が無ければ、継続に結びつきません。「皆さ～ん、この指に止まって下さ～い！」と叫びたい私です。 文：能登 祐子

まち灯り・夏「めだか屋のしろ」編

まち灯りにはかかせない、子どもお楽しみコーナー。上町すみれ会では、ヨーヨー釣り、めだかすくい「めだか屋のしろ」を開店しました。

今回初めての企画となるめだかすくいは国交省能代河川国道事務所・岡部課長の協力で実現したものの。環境に影響のない黒めだかで、小川に放してもいい種類なんだそうです。金魚すくいはみんな一度は経験したことがあると思いますが、めだかすくいは能代でもそうそう体験はできません。なので、開店の時間と共に子ども達がぞくぞくと集まってきて、「めだか！」「やってみたい！」と目を輝かせています。

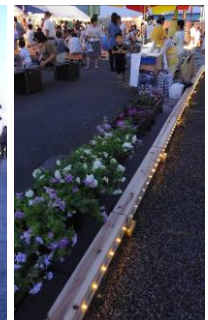
さあ、金魚すくい用のポイを使って挑戦。子どもたちは金魚とは勝手が違って最初は戸惑っていましたが、めだかの動きをじ～っと観察しているうちに、どんどんすくえるように。こちらは次々と集まってくる子供用のポイ作りに忙しく、でも金魚よりも軽くて小さいめだかは、ポイがなかなか破れず内心やきもきましたね。

それからヨーヨー釣りも大好評で、どちらもみんな楽しんでくれました。まち灯りならではの、環境に恵まれた能代でしか体験できない「めだか屋のしろ」。子どもたちの笑顔がなによりですね。ご協力ありがとうございました！

文：上町すみれ会 平山 はるみ



ウッディさんの木工教室は昨年のリピーターもいて大盛況(上)。沿道クロマツのオイル入り足湯、のしろ黒松の湯はいつも満員(下)。



日暮れとともに、色々なスギの灯りが道行く人の足元を照らします。



昨年に続くヨーヨー釣り。暑い夏には水のある企画は最適です(上)。今年の目玉企画、めだか屋のしろ。地元ならではの黒めだかに、NWならではの店主と店員です(下)。

